

基盤地図情報 25000 & 地名・公共施設 & 50m メッシュ標高

日本全図 J - μMAP パーティン4

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（行政区・海岸線）、数値地図 25000（地名・公共施設）、数値地図 50mメッシュ（標高）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平22業使、第223号）

海岸線と 50m メッシュ標高の D X F 3 D 変換ツール JmuGD X F がバンドルされています

Windows Xp, Vista, 7

平面直角座標と 10 種の図法による多彩な表示・印刷・データ変換

「日本全図 J - μMAP」は、日本全土を対象とした全域の地形図データの閲覧およびデータ変換が可能なプログラム [日本全域図] と、都道府県をブロックとして中広域の高精度地形図データの閲覧およびデータ変換が可能なプログラム [日本分県図] を統合したものです。

[日本全域図] は日本全国の行政区・海岸線、50mメッシュを基に生成されたコンター、メッシュ標高面、25,000 分 1 の地名・公共施設データを基にした注記、地図記号を基本データとして、任意の地域を任意の縮尺で地形図の閲覧や印刷が可能であるばかりでなく、EMF（拡張メタファイル）の作成から、EPS ファイルや DXF ファイルへの変換によりデザインや CAD への応用を企図しています。3D の DXF 変換ではコンターや標高面が 3D 図形として出力できます。特筆すべきは、画面表示や画面上での操作あるいは印刷、EMF や EPS、DXF 変換といったデータ変換が基準座標（緯経度距離座標）のみならず、平面直角座標や 10 種の図法上で自由に実行できる点にあります。

[日本分県図] は都道府県を単位として整備された「基盤地図情報 25000」の地形データ（行政区、海岸線、鉄道、河川、道路及び等高線、標高点）をベースに、50mメッシュを基にしたメッシュ標高面、25,000 分 1 の地名・公共施設データを基にした注記、地図記号を付加データとして、平面直角座標により表現し、精度の良い中広域の地形図データの閲覧およびデータ変換が可能になっています。変換は EMF（拡張メタファイル）の作成から、EPS ファイルや DXF ファイルへの変換によりデザインや CAD への応用を企図しています。3D の DXF 変換ではコンターや標高面が 3D 図形として出力できます。日本分県図は、県毎の表示が基本ですが、同一座標系コードを持った地域、例えば東京都（島嶼部は除く）、神奈川県、千葉県、埼玉県等を同時に表示できるようになっています。

標準的な表示機能

[日本分県図] の地形図データの座標は世界測地系の平面直角座標で、都道府県のブロックで図郭割りながなされています。ただし、東京都は島嶼部と別に図郭が切られ、島嶼部も伊豆諸島と小笠原諸島は別の図郭になっています。[日本全域図] の地形図データは内部的には基準座標つまり 1 次メッシュ（経度 1 度、緯度 4 0 分）を 80 km 四方と見立てた座標としていますが、平面直角座標および 10 種の図法（メルカトル図法、ランペルト正積円錐図法、サンソン図法、モルワイデ図法、エッケルト第 2 図法、エッケルト第 4 図法、エッケルト第 6 図法、ランペルト正角円錐図法、アルベルス正積円錐図法、ランペルト正積円錐図法）により、いつでも自由に表示、データ変換が可能です。これにより、[日本全域図] の地図では、方向や距離、面積は図法上でのものとなることをご承知おき下さい。

地図は任意の縮尺で表示でき、最大拡大、最小縮小の設定もできます。最小縮小は「制限なし」に設定することもできます。

地図は回転方向の指定や、回転角度を指定して回転させることができます。回転した地図上でも、拡大、縮小、八方向移動といった図面操作や、距離計測、面積計測、角度計測等が自由に行えます。

レイヤのユーザ表示機能や図上検索：レイヤ項目についてオン/オフ表示・印刷できます。また、表示の色や線種、線号（線の太さ）を個別に変更できます。線号は実線の時のみ有効です。また、線データ、地図記号について図上検索ができます。

[日本分県図] では地図上にグリッドを表示できます。グリッドは基準位置の横座標、縦座標とグリッド間隔（横、縦別々に指定できます）で指定します。グリッドが表示されている状態で地図データ変換（EPS、DXF や EMF 等）を行った場合、グリッドも一緒に変換でき、とても便利です。

しおり機能により簡易のデータベースシステムが構築できます。しおりの検索はグループ毎に一覧リストから選択でき、操作が容易です。

ユーザマップ機能により家屋や面形状、線データ、注記、注記の囲み記号、シンボルが自由に入力でき、多目的地図が容易に作成できます。

表示画面を切り出してクリップボードから他のソフトで利用できます。また、拡張メタファイル（EMF）が直接作れ、ワードやエクセルで縮尺指定の高精細の地図が利用できます。また、地図データが EPS、DXF ファイル出力でき、デザインや CAD に利用できます。EMF や EPS、DXF ファイルは画面が回転した状態でも、回転後の座標で作成できます。

EMF や EPS、DXF ファイルは出力範囲を自由に設定でき印刷や DTP に便利です。印刷時に「自由な凡例」が作成でき、出力位置も設定できます。色帯と番号の対応付けにより、色設定が簡便になっています。またレジューム機能により、前回終了状態から操作を開始できます。

[日本分県図] では任意の縮尺で、正確な基盤白地図（「基盤地図情報（縮尺レベル 25000）」による白地図）・加工地図が印刷できます。

日本全国の高精度地形データ 28GB を USB に格納

3次元処理と3Dデータ変換機能

(1) 地形断面図

地図上の任意の地点を通る断面線（ポリライン）が切り取る断面プロファイルを表示します。断面プロファイルは縦横比の指定や標高起点を変更した表示が可能で、表示された図をクリップボードや EMF（拡張メタファイル）、DXF ファイルとして出力できます。DXF ファイルの出力では、印刷と同様に縮尺を設定して出力できます。また、断面プロファイルをテキストデータとして出力することも可能です。

(2) 地形立体図

対象範囲を地図上から矩形で指定します。矩形は任意の角度方向つまり地図が回転した状態でも設定できます。標高格子は縦、横に自由な格子間隔で作成でき、DXF ファイルやテキスト形式で保存できます。格子の DXF ファイルは格子形状を縦、横の 3D ポリラインとして出力したり、格子を面として 3DFACE やポリメッシュ 3D ポリラインで出力したりできます。立体図は視点の変更や、高さ方向の強調、隠線処理の表示もできます。色塗りの指定が可能で、標高に合わせた色の設定ができ、設定された色の凡例も表示できます。設定された立体図はクリップボードや EMF（拡張メタファイル）として出力でき、立体図の全景を DXF ファイル出力することも可能です。

(3) 海進図/浸水図

浸水標高の指定と、水深レベルによる表示色設定により動的な浸水シミュレーションが可能です。海進シミュレーションや局所的な降雨や下水の氾濫による浸水シミュレーションに適用できます。

(4) コンターと標高面

コンターや標高面は特定の標高に対して、あるいは指定範囲の標高を選んで表示できます。それぞれ標高レベルに応じた色設定ができ、標高面の色塗りでは全体あるいは特定の標高のみを色塗りすることも可能です。

(5) 標高表示とファイル出力

任意の地点の標高を平面座標と共に表示できます。

また 3次元座標としてテキストファイルに出力できます。

3DのDXFファイル

3D地形データをCADやCGへ応用するために、以下のような多岐にわたる3DのDXFファイルを生成します。

(1) コンター/等高線の3D変換(3Dポリライン)

[日本全域図] ではメッシュ標高から作成されたコンター、[日本分県図] では基盤地図情報（縮尺レベル 25000）の等高線を 3D 変換します。

(2) 標高メッシュの3D変換(3DFACE)

50mメッシュ標高を以下の、2つの型の標高面として 3D 変換します。

[1] 均一標高面：標高値を中心とする 50m 四方の標高面

この時、水系データは無変換となります。

[2] 隣接結合面：隣接標高を結んだ相互に連結した結合面

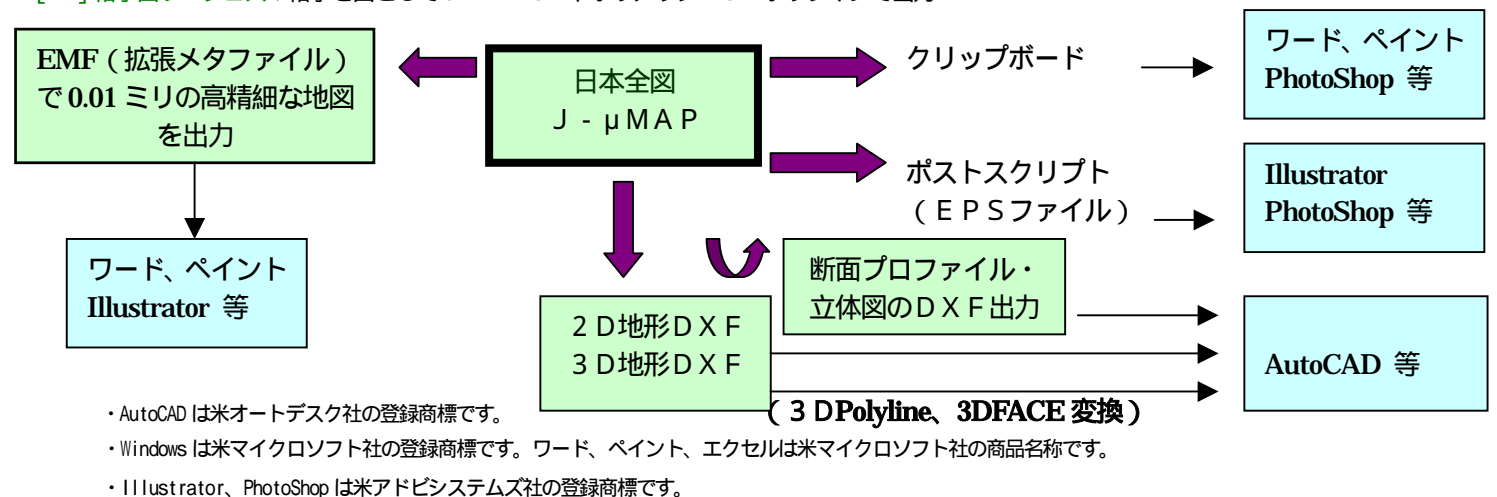
この時、水系データは 0.1m の標高値とします。面全体が水系データの時は無変換となります。

(3) 立体図の標高格子 3D 変換

任意の角度方向に縦、横に自由な格子間隔で作成した矩形の標高格子を 2 つの型の 3D ファイルに変換します。

[1] 格子ポリライン：格子形状を縦、横の 3D ポリラインとして出力

[2] 格子面サーフェス：格子を面として 3DFACE やポリメッシュ 3D ポリラインで出力



- ・AutoCAD は米オートデスク社の登録商標です。
- ・Windows は米マイクロソフト社の登録商標です。ワード、ペイント、エクセルは米マイクロソフト社の商品名称です。
- ・Illustrator、PhotoShop は米アドビシステムズ社の登録商標です。

URL=<http://www.mues.co.jp>

価格：95,000円 + 税

ムーエス株式会社 〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿 2 - 14 - 19

Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073

E-mail: info@mues.co.jp